

## 事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報				令和	3	年度	
事業番号	179		事業名	地域福祉センター運営費			
担当課	福祉課		担当係	地域福祉係	担当者	竹内 啓治	
総合計画に最も関連ある施策	施策	2	やすらぎと生きがいのあるまちづくり		連絡先	0858-72-3586	
	施策体系	2	高齢者・障がい者福祉の充実		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	
	主な事業	地域福祉の充実		<input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	3	民生費		事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 八頭町	
	項	1	社会福祉費			<input type="checkbox"/> その他	
	目	6	社会福祉施設費		計画期間	開始	H19
	事業	179	地域福祉センター運営費			終了	-

### 2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 町民、温泉利用者(町外、県外)		
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 鍛冶屋温泉は八頭町唯一の温泉施設であり、高齢者や障がい者、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図るために施設の維持管理を行う。		
事業の内容	事業の規模や業務量などを具体的に記載。 鍛冶屋温泉源泉地施設(井戸、ポンプ、配管等の設備の維持管理) 八東地域福祉センター(鍛冶屋温泉)指定管理外の業務(大規模修繕、工事など)		
事業の手段	どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 鍛冶屋温泉源泉地施設の維持管理は町で実施するが、八東地域福祉センター(鍛冶屋温泉)は八頭町社会福祉協議会へ指定管理を委託しており、民間事業者の経営ノウハウを活かしながら温泉利用者へのサービス向上、地域福祉の増進を図っている。		
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 多くの住民の方が継続して利用することができ、福祉の増進が図れ、指定管理者による黒字経営が持続できること。		
根拠法令等	3	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし	法令等名→ 八頭町地域福祉センター条例

### 3 活動指標、成果指標

活動指標		単位	事業の手段を図るものさし
	A	人	入浴者数
	B	回	貯湯タンク、配管の泥抜き作業
	C	回	汲み上げポンプ、送水ポンプ等の点検
	D		
成果指標		単位	事業の成果、到達点を図るものさし
	A	千円	利用料収入額
	B	日	温泉施設稼働日数
	C		
	D		

### 4 コスト

区分		単位	H30年度	R1年度	R2年度		R3年度		R4年度
			実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	A	人	14,825	14,052	4,900	5,213	15,000	9,861	15,500
	B	回	2	2	2	2	2	2	2
	C	回	1	1	1	1	1	1	1
	D								
成果指標	A	千円	4,272	4,113	1,400	1,601	4,300	2,835	4,400
	B	日	303	306	107	132	305	263	305
	C								
	D								
トータルコスト		千円	8,143	4,893	63,833	64,819	5,370	4,911	4,098
担当職員数		人	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
職員人件費		千円	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
事業費		千円	6,543	3,293	62,233	63,219	3,770	3,311	2,498
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円							
	県支出金(交付金・補助金)	千円							
	地方債(借入金)	千円			59,100	56,900			
	事業収入(使用料・参加費等)	千円	48	48	48	45	48	48	48
一般財源(単町費)		千円	6,495	3,245	3,085	6,274	3,722	3,263	2,450

## 事務事業計画書兼評価表(B表)

### 5 実施活動内容・成果(到達点)

令和 3 年度

実施活動内容・成果(到達点)	<p>実施活動内容(具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週土曜日、日曜日及び祝日、盆期間の営業時間を19時まで延長して利用促進を図った。</li> <li>・貯湯タンク、配管の泥抜き作業を実施して温泉施設の衛生管理に努めた。</li> <li>・くみ上げポンプ、送水ポンプを点検し、温泉施設の維持管理に努めた。</li> </ul> <p>成果(具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で8月初めから9月中旬まで営業を休止したこと、また県外在住者の利用を停止していたことから利用料収入は目標よりも減少した。温泉施設の稼働日数は263日であり、こちらも新型コロナの影響もあって目標を達成できなかった。</li> </ul>
----------------	--

### 6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
必要性 (町民ニーズ)	20	20	①必要性が高い	・町内唯一の公衆浴場として、町民の衛生的な生活を守るための一助となっている。新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数は減少しているが、影響が無かったころは月平均約1,200人の利用があることから、需要は大きいと考える。
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
妥当性 (町が行わなければならないか)	20	20	①町が行わないといけない	・地域福祉センターの運営及び管理は八頭町社会福祉協議会に指定管理委託しており、町は10万円以上の修繕、源泉地及び送湯管の維持管理を行っている。町の施設であることから、高額な修繕については町で実施すべきであり、源泉地及び送湯管については、町道下に埋設してあることから町が管理するのが妥当と考える。
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
効率性 (コスト削減の余地は無い)	13	20	①効率的である	・地域福祉センターの修繕について、10万円未満の軽微な修繕については指定管理者の負担としており、町が負担する維持管理コストの削減となっている。また、ポンプの点検については、2基を同時に点検するのではなく隔年で1台ずつ点検することとするなど、単年度経費負担の分散化を図った。
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
緊急性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	13	20	①緊急性が高い	・他に類似する事業は無く、町内唯一の公衆浴場として町民の衛生、福祉増進に貢献している。温泉施設の維持管理については鍛冶屋温泉の営業への影響が大きいと、比較的緊急性があるといえる。
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
成果 (目的の達成状況)	7	20	①成果が上がっている	・コロナ禍の中、利用料収入、温泉稼働日ともに目標とする数値には届かず、赤字となった。しかし、コロナの影響による休業期間はあったものの、営業期間中の町民の利用制限は行っておらず、入浴による町民の福祉の増進及び福祉意識の向上は図れたと考えている。
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	
合 計	73			

### 7 町の方向性・方針

事業の方向性	問題点及び今後の課題・方向性
1 拡充する	<p>(事業活動に当たり、一番の問題点として捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所)</p> <p>・地域福祉センターは、令和2年度に大規模改修を行うことで施設を刷新し、更なる利用者の増加を見込んでいたが、新型コロナの影響で休業を余儀なくされたところもあり、コロナ前までの利用者数までは回復していない。施設を継続して運営し、町民が快適に温泉を利用し福祉の増進を図れるように維持管理していくことで、利用者数を増加させていきたいと考えている。</p> <p>(上記問題点を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか)</p> <p>・地域福祉センターを適切に維持管理することで継続的な運営を行い、利用者数の増加を目指す。また、指定管理者にホームページの刷新や入浴料割引キャンペーンを行ってもらい、新規利用者及びリピーターの獲得を目指す。</p>
2 改善・効率化し継続	
3 現状維持	
4 見直しの上縮小する	
5 終期設定し終了	
6 廃止	